

2022 年 3 月 1 日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

当院におけるレンバチニブ治療後の予後についての検討

2. 研究責任者

海南病院 消化器内科 加賀充朗

3. 研究の概要

近年、切除不能進行肝細胞癌に対して、レンバチニブが使用可能となり、広く使用されています。レンバチニブの予後、変更の基準に関しても明らかな報告は認めていません。今回、臨床像、レンバチニブ治療後に追加治療を行った追加治療群と緩和方針となった BSC 群の比較検討を行います。本研究は研究対象者への不利益及び危険性はなく、後方視的評価ではありますが、今後の肝細胞癌の治療に有意義なものになると期待されます。

4. 研究方法

① 対象となる患者さん

2018 年 6 月から 2022 年 2 月までに当院でレンバチニブを導入した方

② 使用する試料等

カルテ情報：外来受診や入院時の採血結果、内視鏡検査結果、CT 等画像検査所見、年齢、性別、臨床経過といったカルテ記事記載内容を使用します。

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 消化器内科 加賀充朗

電話：0567-65-2511（代表）